

PFI (Private Finance Initiative) とは

民間の資金、経営能力、技術的能力、創意工夫等を活用して、公共施設の設計・建設・維持管理・運営等を一括してサービスとして調達する、社会資本整備の新しい手法 (VFMの最大化)

サッチャー政権後のイギリスにおいて、行財政改革の一環として、公共事業を効率化するために導入
わが国においては、1999年7月、議員立法により、PFI法が成立

< 公共側は、民間から公共サービスを調達する >

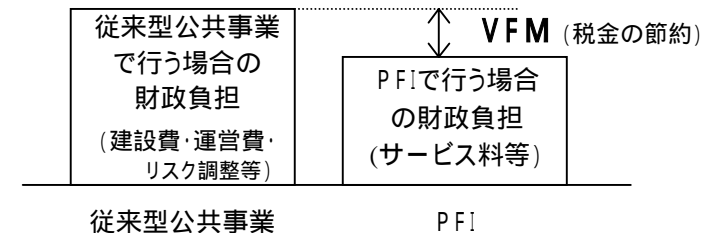
民間事業者が、公共施設等の建設のみならず、
設計から維持管理・運営までを一体的に行う
民間の創意工夫の発揮によるコスト縮減、サービスの質の向上
民間事業者は、公共サービスを提供した対価として、
公共側から、毎年、「サービス料」の支払いを受ける
その「サービス料」により、事業コストを回収することが基本
(必ずしも、利用者の利用料金で事業コストを回収するものではない)

< 官民間で適切なリスク分担を行い、契約で明確化 >

事業遂行責任を明確にするために、個々のリスクについて、
官が負うか、民が負うかについて、契約書に詳細に明記
(例えば、民:建設リスク、運営リスク等 官:災害リスク、制度改正リスク等)

< VFM (Value for Money) の実現・最大化を図る >

VFMとは、
「租税 (= 財政負担) の対価として、最も価値あるサービスを提供する」という考え方 (“国民の税金を最も有効に使う”)
公共施設の整備を、従来型の公共事業で行うか、
PFI事業で行うかの判断基準
< 設計・建設・維持管理・運営も含めたライフサイクル・コストで比較 >



イギリスにおけるPFI事業の実績

これまでに実施されたPFI事業数とその契約累計額は、
450事業、約3兆8,000億円
(うち、2000年度のPFI事業は、107事業、契約金額6,837億円)
分野は、道路、鉄道から病院、学校、防衛事業まで多岐にわたる
公的資本支出に占めるPFIの割合は20%弱
平均で約17%のVFMを達成

< イギリスにおけるPFI事業の成功例: 刑務所の事例 >

・「看守の人員費を安くしたい」というインセンティブ
一人の看守が監視できる独房の数を最大化するため、
六角形の建物のデザインを考案
頑丈な建物を造る代わりに、感知システムを高度化 など
設計から建設、運営に至るまで、VFMの最大化に向けた努力
: 刑務所PFI事業(約10件実施)で、10~18%のVFMを達成